



JCSS
JCSS 0111

校正証明書

依頼者名	公益財団法人東京都防災・建築まちづくりセンター
依頼者住所	東京都品川区東大井1-12-20
校正実施場所	東京都品川区東大井1-12-20 公益財団法人東京都防災・建築まちづくりセンター
計量器の名称	油圧式一軸試験機
型式	UH-F1000kNX
能力	引張・圧縮：1000 kN
製造番号	I25105000006
センサー器物番号	M221307
依頼者管理番号	---
製造年月	2012年7月
製造者名	株式会社島津製作所
力指示計	デジタル表示
力指示計製造番号	12656267
校正レンジ	1000 kN
校正方法	JIS B 7721:2018(ISO 7500-1:2015)による
実施条件	1項のとおり
トランスファ標準器	2項のとおり
校正結果	3項のとおり
校正年月日	2024年7月25日

校正結果は以上のとおりであることを証明します。

2024年7月26日

東京都台東区浅草橋5丁目20-8
株式会社島津アクセス
キャリブレーション部
部長 千葉 武秀



・この証明書は、計量法第144条(第1項)に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。
・当キャリブレーション部は、ISO/IEC 17025:2017に適合しています。
・この証明書は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及びAPAC(アジア太平洋認定協力機構)のMRA(相互承認)に加盟しているIA Japanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。

1.校正の実施条件

- 1) 一軸試験機の校正は、2項に記載したトランスファ標準器を用い、一軸試験機に内蔵された力測定装置に圧縮力を作用させて実施した。
- 2) 負荷枠等の力の伝達系に引張力を作用させる校正は実施していない。ただし、本証明書は、圧縮力及び引張力の両方に適用できる。
- 3) 一軸試験機の校正は調整を行わずに実施した。
- 4) 予備負荷の回数は3回である。
- 5) 力計の位置は変更せず実施した。
- 6) 校正を行う最小レンジでは、ピストン位置を50 mm, 100 mm, 150 mm に変更して実施した。
- 7) 予備負荷及び各負荷サイクル間の待機時間は、2分であった。
- 8) 力計の指示値の測定は、負荷が力に達すると同時に行った。
- 9) 一軸試験機及び校正に必要な機器等は、校正を始める1時間前からすべての校正が終了するまでの連続した通電が行われた。
- 10) 校正実施場所の温度は23℃～24℃であり、各測定シリーズを校正中の温度変動は2℃以内であった。相対湿度は67%±3%、気圧は1005 hPaであった。
- 11) 一般検査において異常は認められなかった。
- 12) 附属品無し。

2.校正に用いたトランスファ標準器

管 理 番 号	LC-02M-31		
名称及び器物番号	LOAD CELL:AHM08056		
校正証明書番号	KE24TT-0293		
型式及び定格容量	CLJ-2MNS : 2000 kN		
指示装置番号	SCOUT55 : 076577018		
等級及び不確かさ	100.0 kN ~ 2000 kN	1級	相対拡張不確かさ 0.079 %
校正温度	23.1 °C ± 1 °C		
校正年月日	2024年 5月27日		
内挿校正の有無	有り		
指示装置との組み合わせ	組み合わせ校正		

管 理 番 号	LC-100-33		
名称及び器物番号	LOAD CELL:AHM06017		
校正証明書番号	KE24TT-0295		
型式及び定格容量	CLJ-100KNS : 100 kN		
指示装置番号	SCOUT55 : 076577018		
等級及び不確かさ	5.0 kN ~ 100 kN	1級	相対拡張不確かさ 0.060 %
校正温度	23.4 °C ± 1 °C		
校正年月日	2024年 5月29日		
内挿校正の有無	有り		
指示装置との組み合わせ	組み合わせ校正		

管 理 番 号	LC-020-32		
名称及び器物番号	LOAD CELL:AHM06028		
校正証明書番号	KE24TT-0292		
型式及び定格容量	CLJ-20KNS : 20 kN		
指示装置番号	SCOUT55 : 076577018		
等級及び不確かさ	1.0 kN ~ 20 kN	1級	相対拡張不確かさ 0.10 %
校正温度	23.0 °C ± 1 °C		
校正年月日	2024年 5月28日		
内挿校正の有無	有り		
指示装置との組み合わせ	組み合わせ校正		

3.校正結果

力の方向：圧縮力

1 . レンジ容量： 1000 kN 等級： 1 級

----- 相 対 誤 差 -----

力 (kN)	相対 指示誤差 q (%)	拡張不 確かさ U (%)	繰返性 b (%)	往復 v (%)	零 f_0 (%)	相対分解能 a (%)
0	-	-	-	-	-0.00	-
4	0.09	0.23	0.27	-0.07	-	0.13
7	0.07	0.20	0.01	-0.17	-	0.07
10	0.06	0.20	0.03	-0.15	-	0.05
20	0.14	0.20	0.01	-0.45	-	0.03
40	0.05	0.20	0.06	-0.27	-	0.05
70	0.10	0.20	0.07	-0.13	-	0.03
100	0.14	0.20	0.09	0.11	-	0.02
200	0.14	0.20	0.03	0.05	-	0.05
400	0.11	0.20	0.05	0.04	-	0.03
600	0.05	0.20	0.02	0.01	-	0.02
800	-0.01	0.20	0.06	0.01	-	0.01
1000	-0.05	0.20	0.05	-	-	0.01

上記の拡張不確かさは信頼の水準約95%に相当し、包含係数 k は2である。
拡張不確かさは、JCSS技術ガイド(JCG204S21 不確かさの見積もりに関するガイド力/一軸試験機)に従って算出した。
相対誤差の決定は、JIS B 7721:2018の6.4.5項、6.4.8項及び6.5項、相対分解能の決定は同6.2項及び6.3項、等級分類の判定基準は同7項による。

以下余白